

第1回準備委員会

第19回全国障害者スポーツ大会茨城県準備委員会 第1回準備委員会 次第

日 時 平成26年10月9日(木) 13:30～
場 所 茨城県庁舎 11階 共用会議室 1106・1107

1 開会

2 説明事項

第19回全国障害者スポーツ大会開催準備スケジュールについて

3 審議事項

- ・第1号議案 第19回全国障害者スポーツ大会広報基本方針(案)について
- ・第2号議案 第19回全国障害者スポーツ大会県民運動基本方針(案)について
- ・第3号議案 第19回全国障害者スポーツ大会の名称・愛称・スローガン・マスコットキャラクター(案)について
- ・第4号議案 第19回全国障害者スポーツ大会会場地市町村選定基本方針(案)について

4 協議事項

第19回全国障害者スポーツ大会開催基本方針(案)について

5 質疑応答

6 閉会

第19回全国障害者スポーツ大会 開催準備スケジュール

年 度	主 な 取 組 内 容
H 2 6 (5年前) 開催内定 (7月23日)	<ul style="list-style-type: none"> ・第19回全国障害者スポーツ大会茨城県準備委員会の設立 ・広報基本方針・県民運動基本方針の策定 ・大会名称・愛称・スローガン・マスコットキャラクターの策定 ・会場地市町村選定基本方針の策定 ・広報基本計画・県民運動基本計画の策定(第2回準備委員会) ・開催基本方針の策定(第2回準備委員会) ・バリアフリー等基本方針の策定(第2回準備委員会) ・市町村連絡会議の設置 ・全国障害者スポーツ選手養成強化検討委員会(仮称)の設置 <p>※第2回準備委員会は平成27年2月に開催予定</p>
H 2 7 (4年前)	<ul style="list-style-type: none"> ・会場地市町村の選定 ・競技運営主管団体、競技種目の決定 ・競技役員等編成基本方針や養成基本方針・計画等の策定 ・オープン競技実施基本方針の策定 ・ボランティア養成基本方針・基本計画の策定 ・バリアフリー等調査 ・啓発グッズ、ホームページ等を活用した広報・啓発活動 ・選手養成強化計画の実施 <p>※平成27年度は、準備委員会を3回程度開催予定</p>
H 2 8 (3年前) 開催決定 (夏ごろ)	<ul style="list-style-type: none"> ・第74回国民体育大会・第19回全国障害者スポーツ大会茨城県実行委員会設立(予定) ・開催基本計画の策定 ・開閉会式会場基本計画の策定 ・競技運営基本方針の策定 ・競技役員等の養成 ・ボランティア養成カリキュラム等の策定 ・皇室対応の準備
H 2 9 (2年前)	<ul style="list-style-type: none"> ・大会実施要綱の検討 ・競技運営基本計画の策定 ・式典実施計画の策定 ・オープン競技の決定 ・ボランティアの養成
H 3 0 (1年前)	<ul style="list-style-type: none"> ・大会実施要綱の策定 ・競技実施要項等の策定 ・ボランティアの養成・登録 ・式典実施要項の策定 ・宿泊要項の策定 ・行啓本部の設置 ・リハーサル大会の開催
H 3 1 (開催年)	<ul style="list-style-type: none"> ・本大会の開催

※ このスケジュールは、準備の進捗に応じて改定します。

審 議 事 項

第19回全国障害者スポーツ大会 広報基本方針（案）について

第19回全国障害者スポーツ大会の開催意義を広く県民に周知することにより、障害や障害者への理解を深め、大会への参加意識の高揚と県民総参加の実現を図るとともに、大会開催といばらきの魅力を全国に発信するため、次のとおり広報活動を展開する。

- 1 県・市町村、関係機関・団体、企業、NPO、ボランティア団体、本県ゆかりのアスリート等との緊密な連携と協力のもとに、各種広報媒体等を効果的に活用し、積極的に県内外に大会の開催に向けた情報を発信していく。
- 2 報道機関との連携や、多様なメディアの活用により、大会に関する情報を迅速かつ効果的に伝達するとともに、いばらきの魅力を全国に発信する。
- 3 大会を象徴し、広く県民に愛されるような愛称やスローガン、マスコット等を制定し、その普及を図ることにより、大会開催の機運を高める。
- 4 大会の記録映像及び記録写真集を制作し、その感動と興奮を永く記録にとどめ、開催成果をいばらきの財産として未来に継承する。

第19回全国障害者スポーツ大会 県民運動基本方針（案）について

1 目的

第19回全国障害者スポーツ大会の県民運動は、県民一人ひとりが様々な形で茨城大会に参加、協力し、理解を深めることにより、県民すべてが、選手、監督、観覧者とともに感動と喜びを共有できる大会を実現するために展開する。

また、大会の開催を機に、障害者スポーツのより一層の普及・振興や人情味あふれるおもてなしの取り組みを県全体に広めるとともに、県民の郷土愛や連帯感の醸成に努めることにより、障害の有無に関わらず人が輝くいばらきづくりに寄与することを目的とする。

2 基本目標

- (1) 大会イベントやボランティア活動への参加など、県民が一体となって大会を盛り上げる。
- (2) 来県者を心のこもった温かいおもてなしで迎える。
- (3) 障害者スポーツに対する意欲や関心を高め、障害者スポーツ活動を推進する。
- (4) 障害や障害者に関する理解を深め、参加者がお互いに支え合う心を醸成する。
- (5) いばらきの魅力を再認識するとともに、積極的に県内外に情報発信する。

3 運動の進め方

- (1) この運動は、県民一人ひとりの自発的、積極的な活動を基本として推進する。
- (2) 障害者福祉団体、地域団体、NPO、ボランティア団体、福祉施設、学校、企業等は、会員等に対しこの運動の普及・啓発を行うとともに、それぞれの特性をいかした実践活動を企画し実施する。
- (3) 県準備委員会は、この運動の全県的な推進計画を定め、普及・啓発活動を行うとともに、既存の県民運動や市町村等との連携を図り、全県的な運動の展開を支援する。
- (4) 市町村等は、この運動の普及・啓発活動を行うとともに、地域住民や各種団体等と協力して、地域の特性に応じた市町村民運動を推進する。

第19回全国障害者スポーツ大会の名称・愛称・スローガン・マスコットキャラクター（案）について

1 名称

第19回全国障害者スポーツ大会

全国障害者スポーツ大会は、障害者が競技を通してスポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障害に対する理解を深め、障害者の社会参加の推進に寄与することを目的とした障害者スポーツの祭典です。

平成31年度の茨城県での開催が第19回大会となります。

2 愛称（国体と共通）

いきいき茨城ゆめ大会

（趣旨）

選手やボランティアをはじめ、大会に参加するすべての人々に、活気にあふれ、いきいきと活躍できる夢のあるスポーツの祭典のすばらしさを感じていただきたい、という想いを込めています。

3 スローガン（国体と共通）

翔べ 羽ばたけ そして未来へ

（趣旨）

大会に様々な形で参加することによって飛躍し、そして未来に向けて大きく羽ばたいていける大会であるように、という想いを込めています。

4 マスコットキャラクター（国体と共通）



（プロフィール）

はるかな未来に、幸運のエネルギーでできたラッキー星がある。その星のかけらが弾けて、地球の茨城にやってきた。

茨城（イバラキ）は、ラッキー星と名前が似ていてずーっと気になっていた。

みんなに幸運を届けることが大好きで、好奇心が旺盛！頭にあるアンテナで幸運の届け先をいつも探している。

手を振ると左手の緑のハートからは「夢を描くパワー」を、右手のオレンジのハートからは「勇気のパワー」を発することができる。

頑張っているひとを見るとアンテナが反応！背中の翼でどこへでも行って輝くみんなに夢と希望を届けます！

第19回全国障害者スポーツ大会 会場地市町村選定基本方針（案）について

第19回全国障害者スポーツ大会で使用する会場地は、次により選定する。

- 1 全国障害者スポーツ大会開催規程第6条及び全国障害者スポーツ大会開催基準要綱5-(5)に基づき、原則として、第74回国民体育大会の会場を使用することとする。
- 2 選手等の負担軽減、観客の利便性及び交通・宿泊施設等の状況を総合的に判断し、開閉会式会場及び競技会場はできるだけ集中的に配置する必要がある。
- 3 全国障害者スポーツ大会競技規則及びその他各競技規則に定める競技の実施に適合する会場であること。
- 4 コスト削減の観点から、大規模な改修・仮設を必要としない会場であること。

○全国障害者スポーツ大会開催規程 第6条

(厚生労働省告示第385号 H13.12.18)

全国障害者スポーツ大会は、原則として、秋季国民体育大会の会場を使用するものとする。

○全国障害者スポーツ大会開催基準要綱 5-(5)

(日本障がい者スポーツ協会 H12.1.5 制定)

全国大会における競技施設は、原則として、国民体育大会（本大会）の会場を使用する。

協 議 事 項

第19回全国障害者スポーツ大会 開催基本方針（案）について

「みんなで創る 人が輝く元気で住みよい いばらき」で開催される第19回全国障害者スポーツ大会は、障害に対する理解を深め、障害者の社会参加に寄与する大会とするとともに、障害がある人もない人もすべての人が共に歩み幸せに暮らせる社会を目指す大会とし、次の3つを基本方針とします。

1 人が輝き元気になる大会

多くの県民がボランティアや県民運動など様々な活動で大会開催に参加し、来県者の方々に対して誠意とまごころ、おもてなしと思いやりの心をもって温かくお迎えするとともに、競技や記念イベント等を通して、障害のある人もない人もすべての参加者が感動や喜びを共有できる大会とします。

2 「いばらきの魅力」を発信する大会

県民1人ひとりが、大会開催を通して、いばらきならではの豊かな自然や歴史、文化、祭り、温泉、郷土料理、特産品、最先端の科学技術など魅力ある地域資源を再認識するとともに、これら「いばらきの魅力」を、県広報誌、ホームページをはじめ、新聞、ラジオ、テレビなど多様な広報媒体を積極的に活用し情報発信して参ります。

3 互いに認め合い支え合う社会を目指す大会

来県者や県民の出会いと交流を促進し、障害に対する理解を深め、障害のある人もない人も、相互に人格と個性を尊重し合いながら、共に歩み幸せに暮らすことができる社会を目指す大会とします。